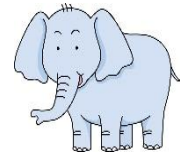


## スクールカウンセラーからのおたより

落ち葉の音で気づく静けさがあります。いつの間にか冬じたくの季節ですね。

今年は、さあ始めようと思うたびにストップの繰り返しで、毎日を仮の生活のように感じてしまう人がいるのではないのでしょうか。「生きている意味がわからない」と深く考えている人もいました。このことを考えたことのない大人はいないと思いますが、スパッと答えられる大人もいないようです。それは、まだ一生懸命生きているからかもしれません。

2014年104歳で亡くなった詩人を思い出しました。皆さんは「♪ぞ～さん ぞ～さん お鼻が長いのね そ～よ母さんも な～がいのよ♪」という歌ご存じですか？その歌詞を書いたのがその人「まど・みちお」さんです。その詩集にこんな詩がのっています。



ぼくが ここに いるとき／ほかの どんなものも／ぼくに かさなって／ここに いることは できない／もしも ゾウが ここに いるならば／そのゾウだけ／ママが いるならば／その一つぶの ママだけしか／ここに いることは できない／ああ このちきゅうの うえでは／こんなにも だいに／まもられているのだ／どんなものが どんなどころに／いるときにも／その「いること」こそが／なににも まして／すばらしいこととして （「ぼくがここに」 童話社）



あなたが賢いから、いい子だから、そこにいていいというわけではありません。あなたがあなたであることで、その空間はぴったりと埋められ、一つ一つの生命がすきまなく共に生きていくことで、世界はしっかりと組み立てられています。だから、どこが一つ欠けても、そこから世界はくずれてしまいますね。すべての存在のために、あなたはいてくれなくてはならないのです。

人は時々、なぜ自分は生きているのかと、迷い道に入ってしまうこともあるのですが、**毎日生きながら、動きながら**一つずつ「ああ、こういうことだったんだ」と、**今ここに**いる意味に納得することは、確かにこれから何度もあります。

今どうしたらいいかわからないなら、身近なだれかに、話しかけてみませんか？もし、やってみたいけれど自信がなくて考えないことにしていることがあるなら、それに関係の**ありそうな、でも小さな行動から、**一つずつ**実行**してみるのはどうでしょう。すると次にどうしたらいいかきっとわかります。相談室でも、考えるお手伝いができます。

11月の面接は11/10（火）・27（金）の予定です。相談の申込みは担任・養護  
相談担当の先生方にたずねてください。